〈ケースプレゼンテーション論文〉

〇〇◯に対してインプラントによる補綴治療を行った１症例

Dental Implant Treatment for XXXXXXXXXXXXXX:A Case Report

口腔 一郎

KOUKU Ichiro

〇〇大学附属病院　口腔インプラント科

Department of Implant Dentistry, XXXXXX Hospital

〒123-0000

東京都中央区中央１丁目１—１

Tel 03-9999-9999

Fax 03-9999-9999

E-Mail: XXXX@XXXX.com

　 Ⅰ．緒言

　〇〇欠損に対する補綴処置として，・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・インプラント治療を行い，良好な結果が得られたので報告する．

　　　　　Ⅱ．症例の概要

患　者：〇歳，女性．

初　診：20XX年X月．

主　訴：〇〇の咬合痛．

既往歴：特記事項なし．

現病歴：〇〇にて10年程前に〇〇処置を受けたが，◯週間前より同部の咬合痛を自覚したため，20XX年X月，当院を受診した．

現症：・・・・・・・・・・・・・・・

　全身所見：・・・・・・・・．

　口腔内所見：・・・・・・・・．

　検査結果：・・・・・・．

診断名：・・・・・・・・・．

　　　　　　Ⅲ．治療内容

　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

　　　　　　Ⅳ．経過と考察

　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・．

　　　　　　　Ⅴ．結論

　　インプラント義歯による補綴治療介入によって口腔機能回復を行ない，◯年◯か月間メインテナンスを行っているが, インプラント周囲の骨レベルに変化はなく炎症所見も認められない．このことにより、×××に対するインプラント治療は有効な治療法であることが本症例においても示された．

　　　　　　　Ⅵ．文献

１）〇〇〇○, 〇〇〇○, 〇〇〇○. 歯槽堤形成術における〇〇〇○の〇〇〇○法　－〇〇〇○の応用－. 日口腔インプラント誌　20XX;XX:10X-10X.

２）〇〇〇○，〇〇〇○，〇〇〇○，〇〇〇○：よくわかる〇〇〇○学，第１版，東京：〇○出版，６-７， 2008．

図の説明文

図１術前口腔内写真（20XX年X月)

図２術前パノラマエックス線写真

（20XX年X月）

図３上部構造装着後の口腔内写真（20XX年X月）

図４上部構造装着後○年○か月経過時の口腔内写真（20XX年X月）

　図５上部構造装着後○年○か月経過時のパ　 ノラマエックス線写真（20XX年X月）

図１

図２

図３

図４

図５